マニフェスト型選挙に関する調査
～マニフェストスイッチ調査①～

日本創生元年、さまざまな社会課題を解決する「マニフェスト型選挙」は実現できているのか。地方選挙でマニフェストが読まれるためには、何が必要なのか。

早稲田大学マニフェスト研究所
マニフェスト調査部会

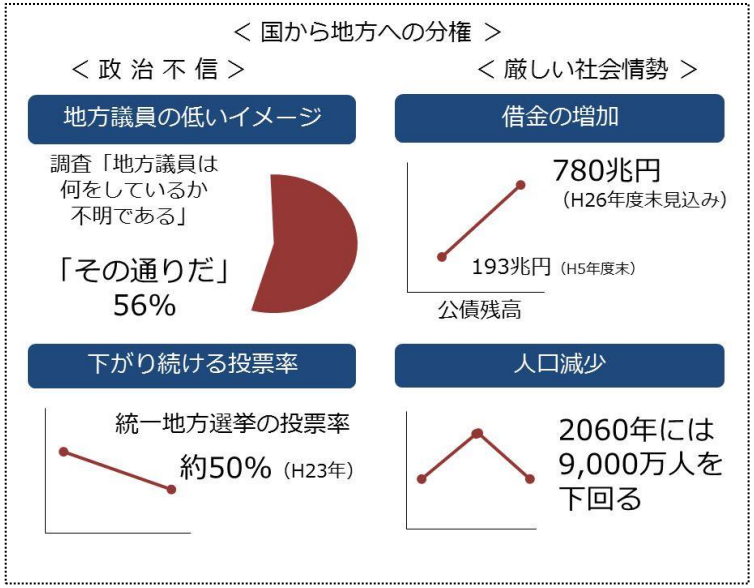
調査の背景・目的

【背景】

地方創生元年というべき2015年。いま日本は、借金増や人口減少など厳しい社会情勢が続いており、さらなる地方の自立が求められています。

しかし、それを解決すべき地方政治は、議会不祥事や投票率の低下など、うまく機能しているとは言い切れません。

限られた資源と増加する負担を分配する社会において、**政治家と有権者は選挙のときにどうあるべき**なのでしょうか。



2015年統一地方選挙に向け、「マニフェストを読んで投票する」人を増やすため、有権者の意識調査として、以下について調べる。

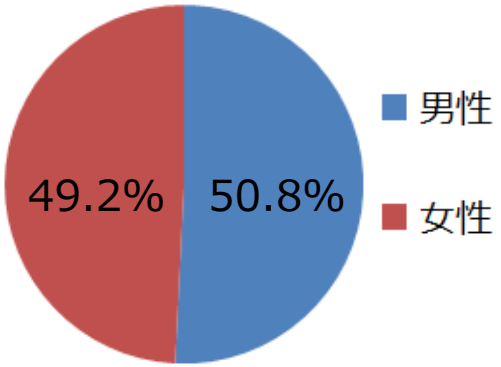
① 資源・負担分配社会に対する有権者意識
② マニフェストは参考にされているか
③ どうしたらマニフェストが読まれるか

調査の概要

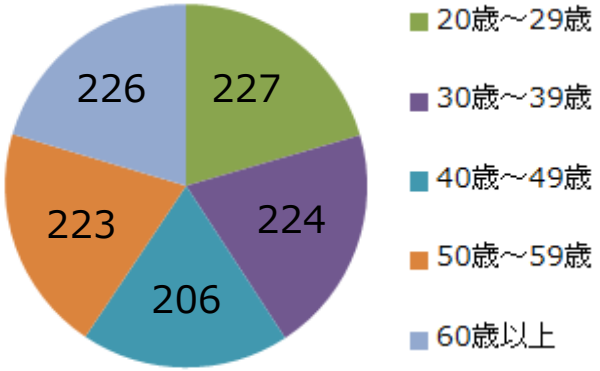
■調査方法	インターネットリサーチ
■実施期間	2015年02月02日～3日
■調査対象	全国の男女有権者
■有効回答数	1,106人
割り付け：男女半数、各年代200回答	

都道府県別の回答割合
（上記のみ）

性別



年齢

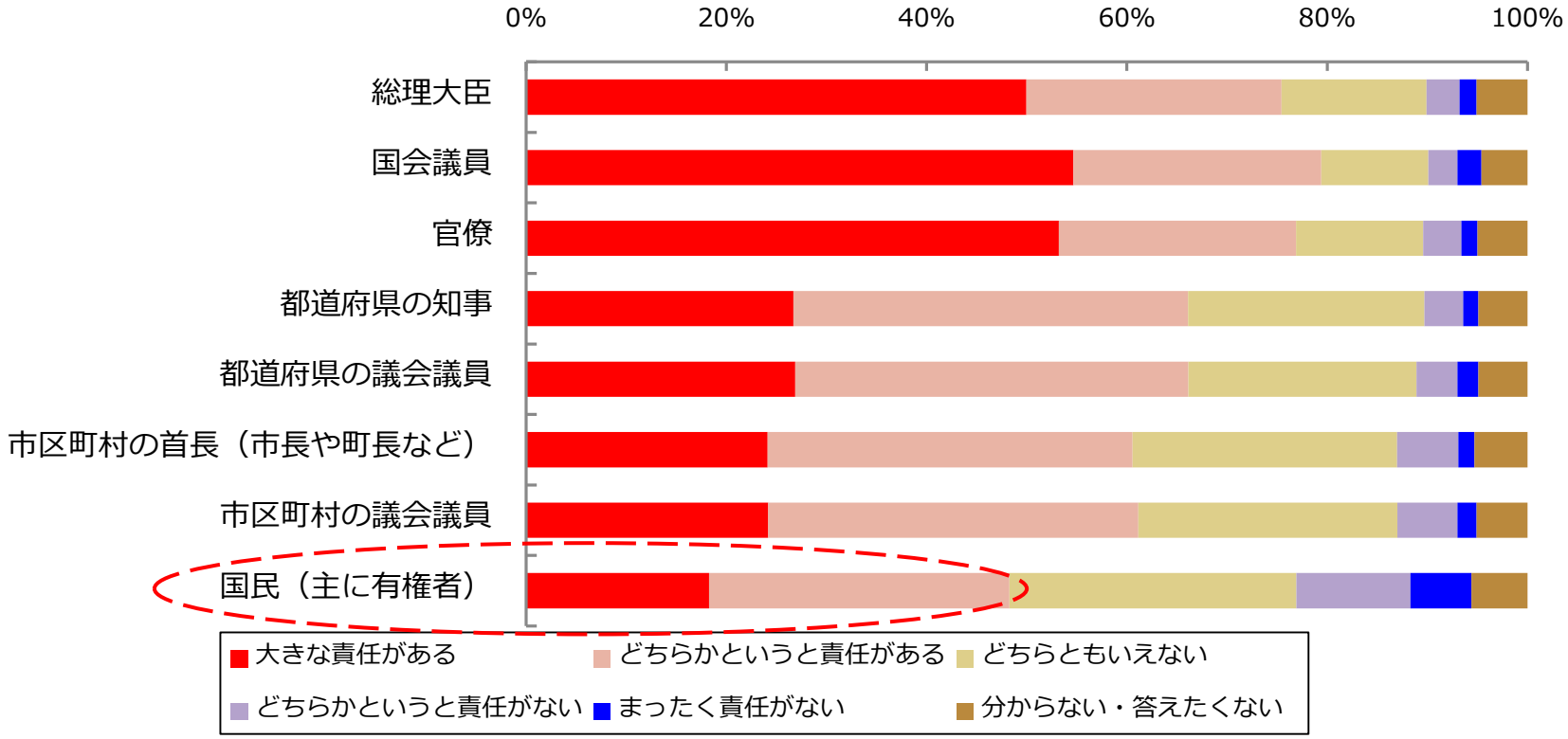


■資源・負担分配社会に対する有権者意識

借金増は「国のせい」

「総理大臣・国会議員・官僚」７割強で最多。
「都道府県知事・議会」、「市区町村長・議会」と続き、「国民」は最少。

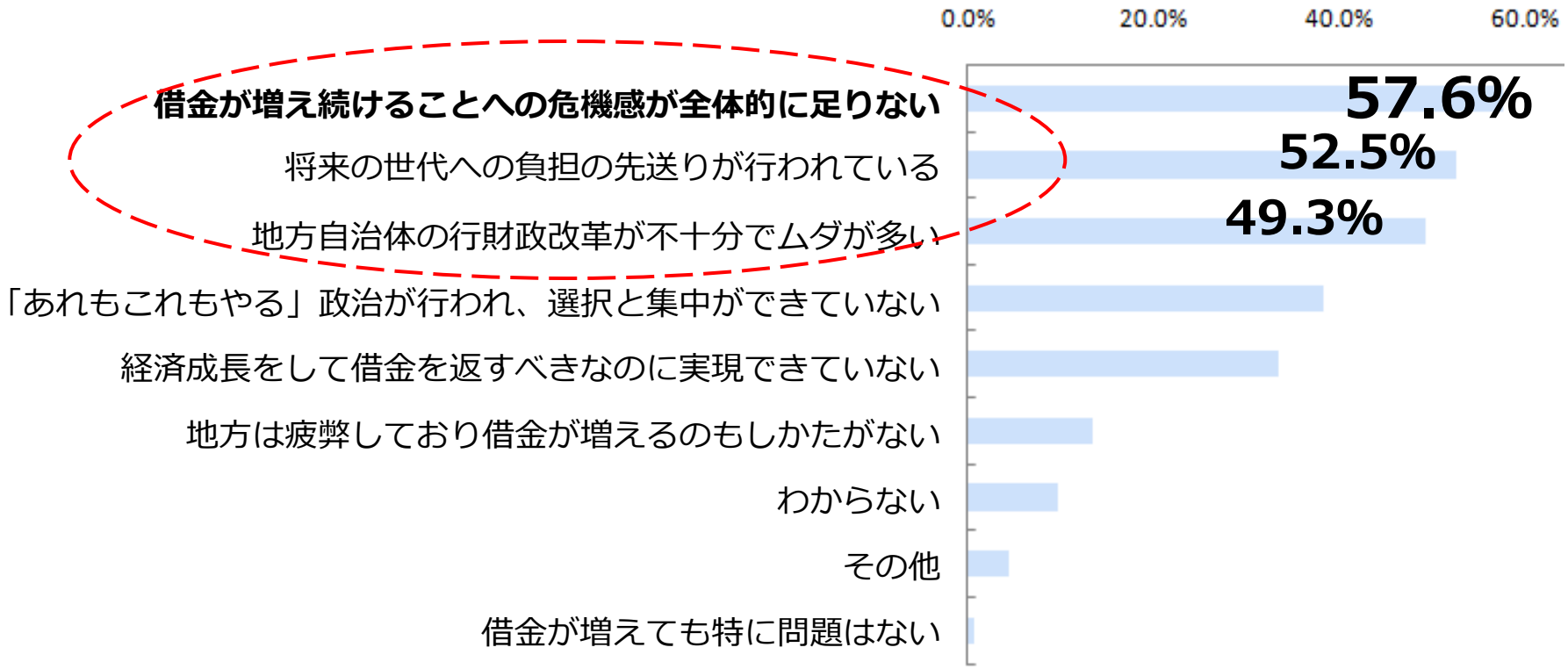
Q4 国の借金が膨らみ続けるのは誰のせいか、あなたが日本の政治家や機関・団体などに対して感じている責任の度合いを教えてください。（n=1106）



地方の借金増の要因は「危機感不足」

「危機感不足」「負担先送り」「行政改革が不十分」が５０％超え。
地方に危機感が足りないということだが、有権者の危機感はどうか。

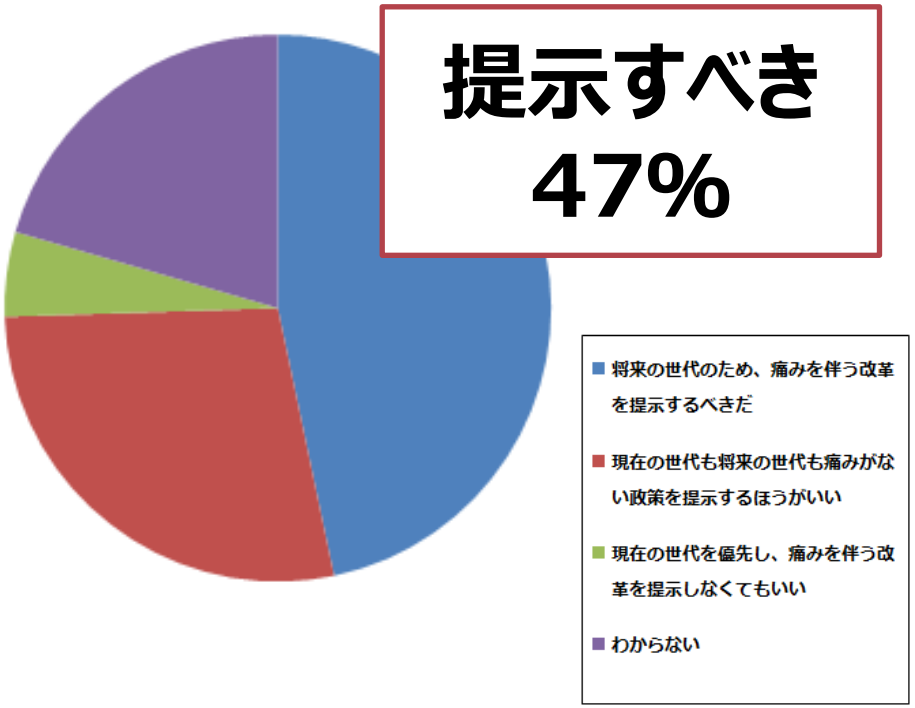
Q　国の借金が増え続ける要因の１つには、地方の借金が増えていることもあります。こうした要因として、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。あなたの考えに近いものをすべて教えてください。（n=1106）



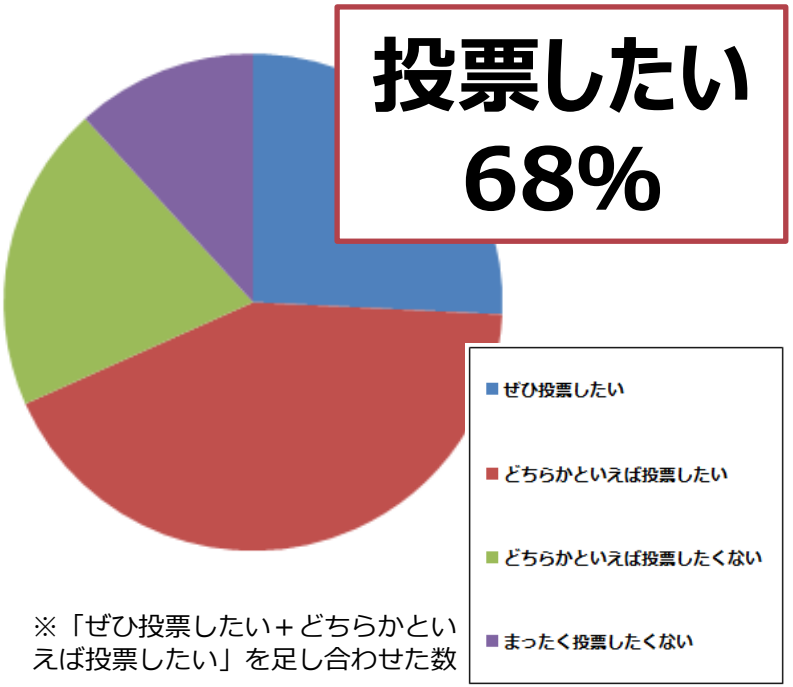
痛みを伴う改革は「必要」半数、投票意向多数

「改革を提示すべき」が約半数で多数。「提示すべきではない」は少数。
改革を提示する候補者へ「投票したい」という意向は７割近い。

Q16　選挙でマニフェストを提示することには、「将来にツケを残さないために、痛みを伴う改革を提示する」という効果もあります。選挙でこうしたことを提示することについて、あなたはどう思いますか。（n=1106）



Q17　選挙に向けて「将来にツケを残さないために、痛みを伴う改革」を提示する候補者について、あなたはどう思いますか。（n=1106）



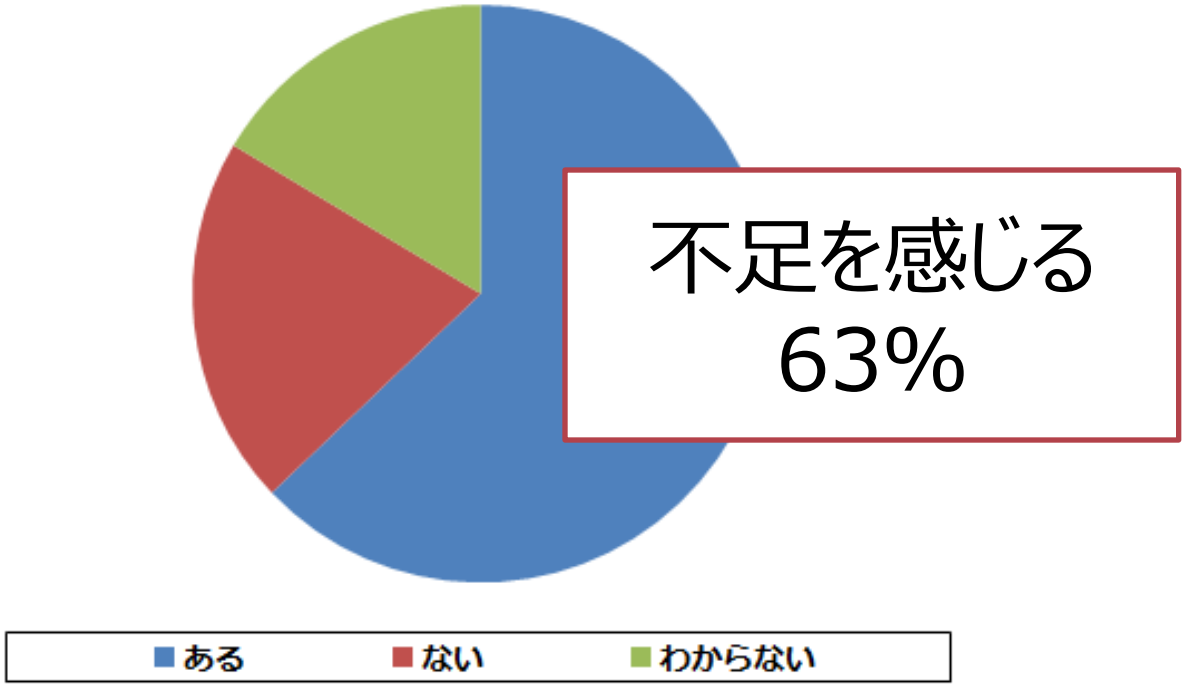
※「ぜひ投票したい＋どちらかといえば投票したい」を足し合わせた数

- マニフェストは参考にされているか

地方選挙「候補者情報の不足」6割超

地方選挙では「人柄や政策がわからない」有権者が6割で多数、その結果、選挙の投票先を決めにくい現状がある。

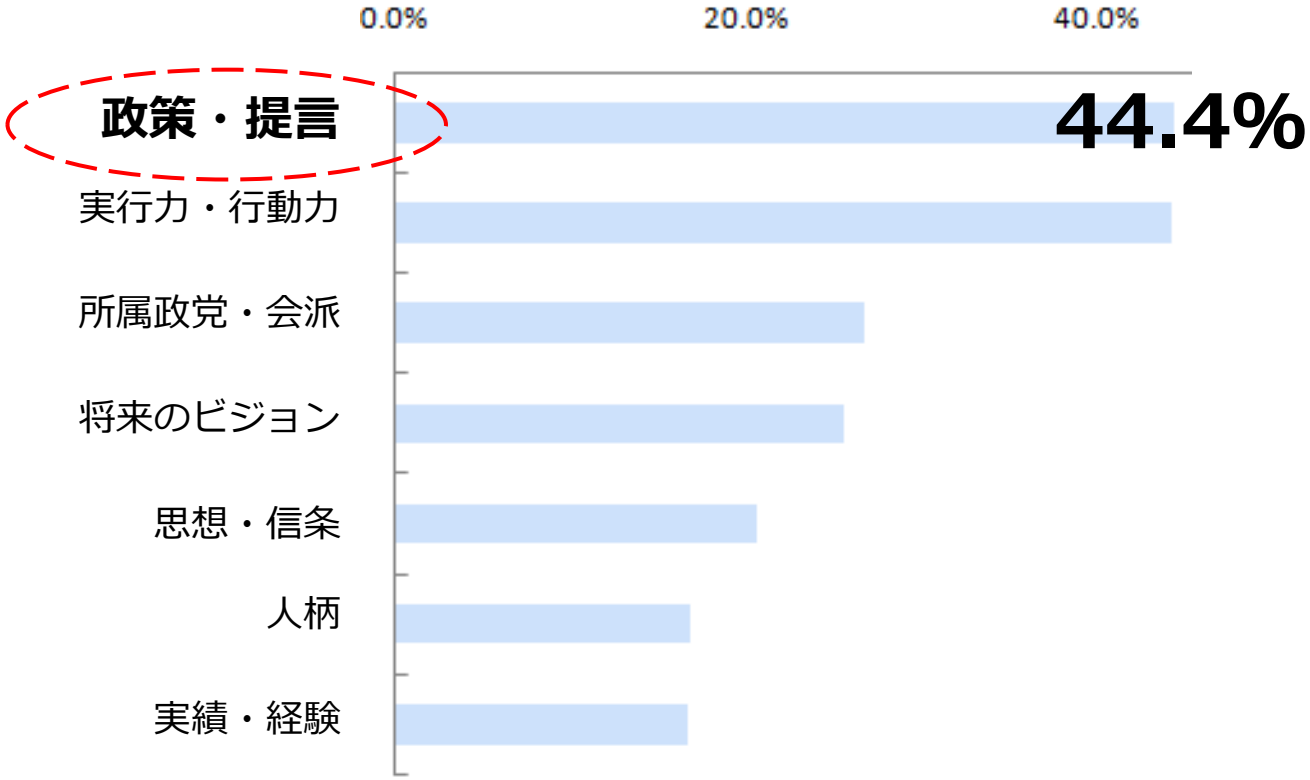
Q18 地方選挙で「候補者の人柄や政策がよくわからないので、誰に投票したらいいか決められない」という割合が、2011年の明るい選挙推進協会の調査によると50%を超えました。最近の地方選挙で、あなたはそうお感じになったことはありますか。（n=1106）



候補者を選ぶ理由「政策」だが…

「政策・提言」が44%でトップ。以下、「実行力・行動力」「所属政党・会派」と続く。一方で、選挙後に同じ質問をすると、「人柄」が多くなる。なぜか。

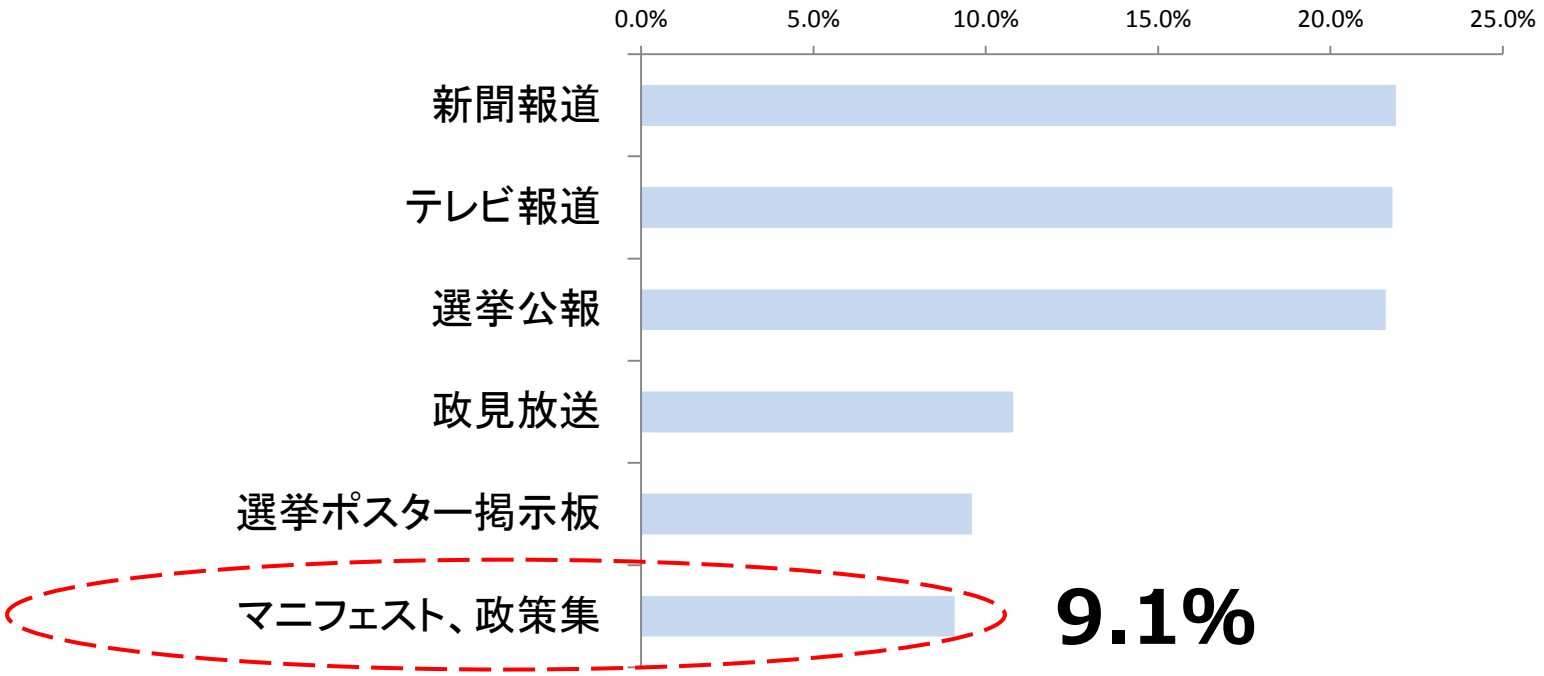
Q6　あなたがふだん、選挙で投票をする際に候補者を選ぶ理由を以下から３つまで選んでください。　（n=761）



投票の参考にしたツール「テレビ」「新聞」「選挙公報」

「マニフェスト（選挙公約）または政策集」は11%。現実には参考にされていない。

Q13　前回の地方選挙（首長・議会議員）の投票先を決める際に、【投票の参考にした、有効だった】ツール・メディアをすべて教えてください。（n=816）

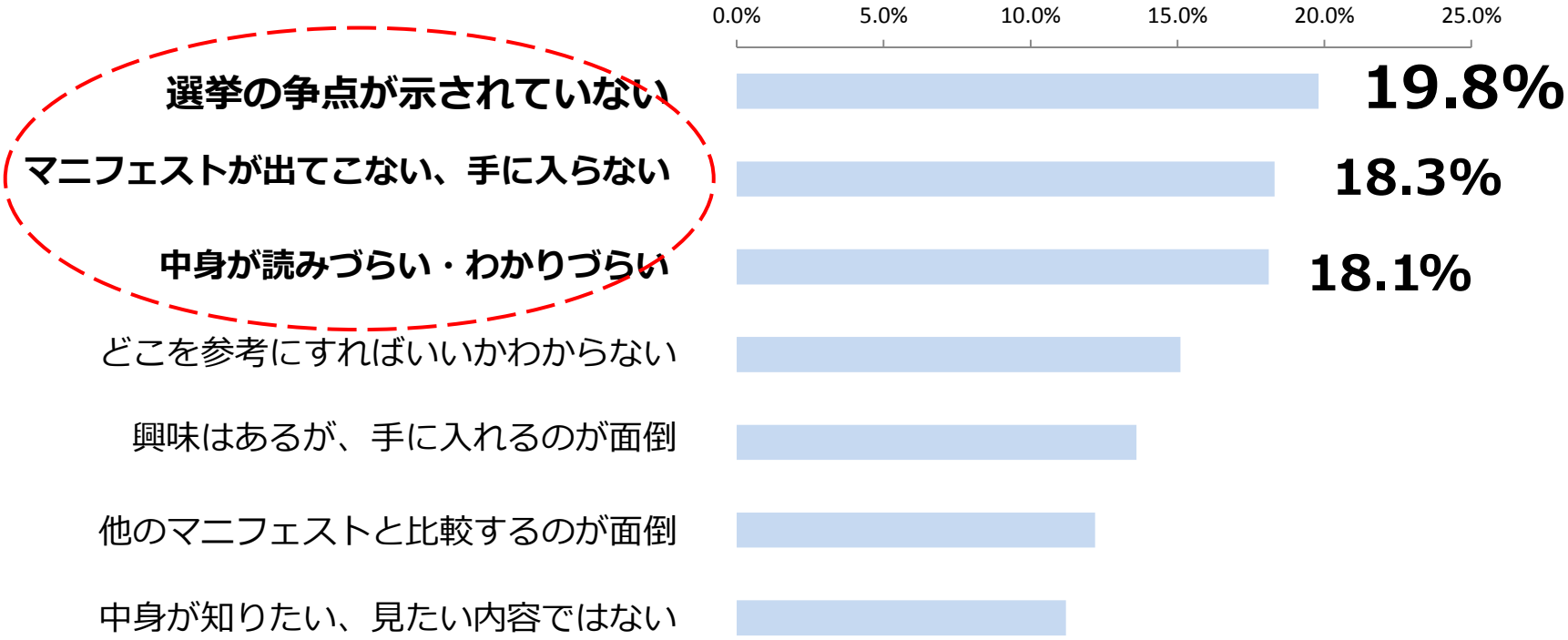


- どうしたらマニフェストが読まれるか

「争点がない、出てこない、わかりづらい」マニフェスト

マニフェストを読まない・参考にしない理由として、
「争点がない」「出てこない・手に入らない」「わかりづらい」といった意見が多数。

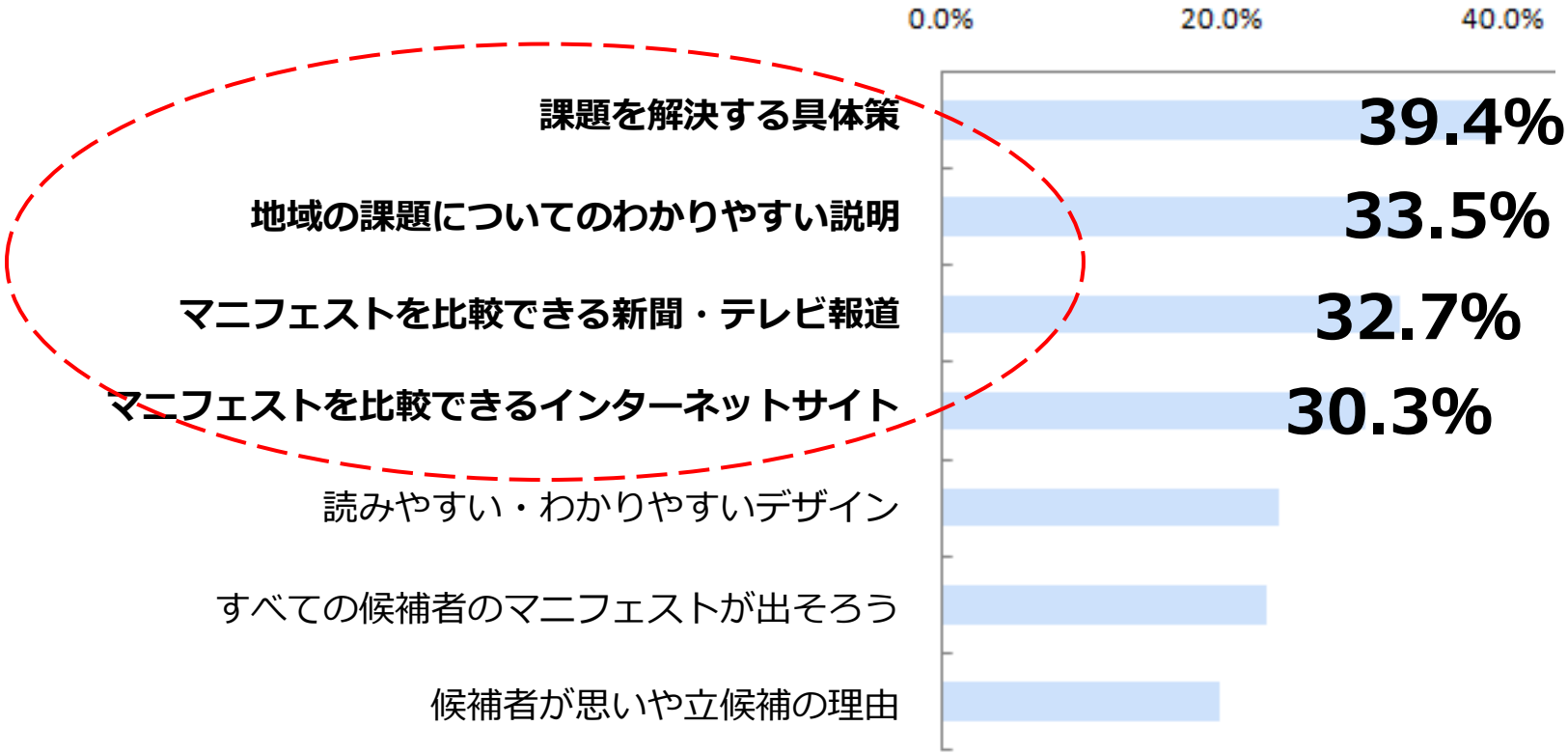
Q15 選挙の際にマニフェストや政策集を読まない、もしくは参考にならない理由として、
あなたが感じているもののうち近い考えを、以下からすべて教えてください。（n=1008）



必要なのは「具体策」「地域の課題」「比較できる媒体」

今後の地方選挙で求められているのは、「具体策」４０％、
「地域の課題の説明」３４％、「比較できる媒体」が約３割という回答。

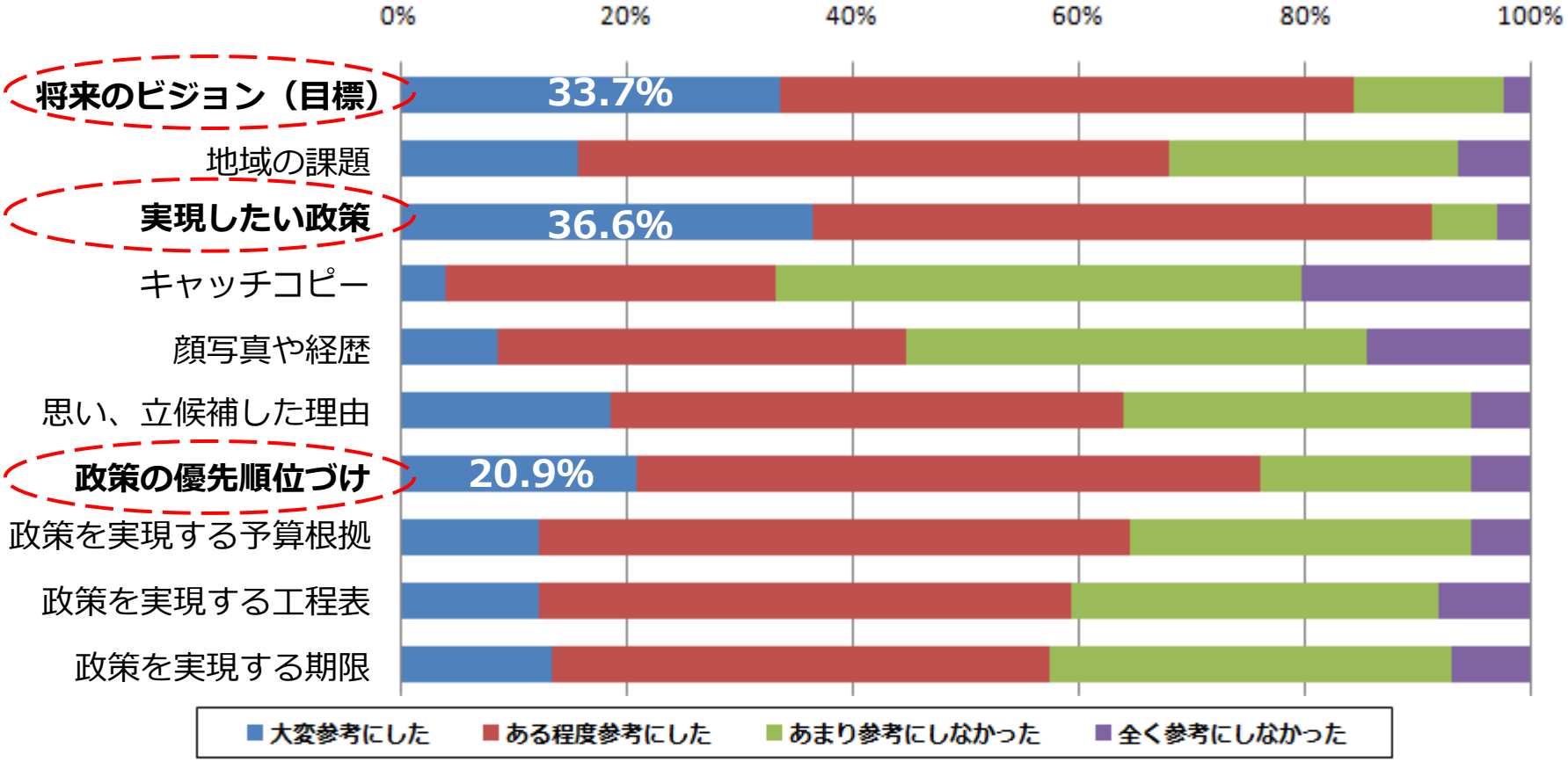
Q　以下のうち、この条件・コンテンツがそろえば「今後の地方選挙でマニフェストを読んで投票する」と思うものがあれば、以下から選んでください。（n=1106）



衆院選では「ビジョン」「政策」「優先順位付け」参考

衆院選2014「マニフェストを参考にした」と回答した人が「大変参考にした」項目は、「実現したい政策」３７%、「ビジョン」３４%、「優先順位付け」２１%の順。

Q　マニフェストの中身として、以下のどの項目を参考にしましたか。（n=172）



マニフェストスイッチ調査：結論

【調査結果より】

- 有権者は、借金増加に「危機感」を持っており、「痛みを伴う改革の提示」も必要という意識
- 「政策で選びたい」有権者と、「マニフェストが参考にされていない」現実にギャップがある
- マニフェストが参考にされないのは「争点がない、出てこない、わかりづらい」ため

将来に負担を先送りしないため

- **政治家は、地方財政の現状を示し、政策の優先順位を示す、マニフェストの提示が必要**
- **有権者は、政策を見比べて投票＝選択することが必要。**
- **政策型の選挙を実現するために、「具体策」「地域の課題」「比較できる媒体」が必要**

「マニフェストスイッチプロジェクト」スタート

理想と現実のギャップ

「政策で選びたい」
有権者は多数派

「マニフェストが
参考にされていない」

×将来世代へ負担を先送り

→地方財政の現状を示し、
政策の優先順位を示す必要

□候補者：**マニフェスト**

□有権者：政策の**選択**

「参考になるマニフェスト」

①ビジョン・課題・政策がわかる

②政策の優先順位がわかる

③ならべて比較ができる

2015年統一地方選挙に向けて

「マニフェストスイッチプロジェクト」

http://manifestojapan.com/

がスタートします！

※３月10日サイトオープン予定

データの利用にあたっての諸注意

- ◆ 当所の許可なく無断転載・複製はご遠慮ください。
- ◆ 本資料の転載、および引用は、出典を明記のうえ、自由にご利用ください。
- ◆ その際、可能であれば弊所までご一報いただくか、掲載媒体・PDFをご送付ください。

お問い合わせ等は、下記までご連絡ください。

早稲田大学マニフェスト研究所
事務局　担当：青木、永尾

〒103-0027
東京都中央区日本橋1-7-12 国土施設ビル3階
TEL： 03-6214-1315
E-MAIL：mani@maniken.jp